

NPO 法人東京 YWCA 福祉会 通信

13号

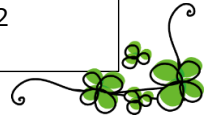
2022 年 12 月

特定非営利活動法人東京 YWCA 福祉会

<事務局>〒174-0043 板橋区坂下 1-34-25 公益財団法人東京 YWCA

板橋センター内 TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852

URL <https://ywca-fukushikai.tokyo/>



Y's コート ゆい 就労継続支援 B 型（働く場）

発達障がい、知的障がいのある人々の「働く場」Y's コート ゆいは、現在 17 名が在籍し、カフェ JOY、受注作業、自主生産品作りと販売などの仕事をしています。

「賜物」の支援へ

2017 年 4 月、Y's コート ゆいが開設され初めての新年度の入所式で、坂口さん（当時の理事長）が「わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っています。」パウロ：ローマ 12:6（新共同訳＜一部改変＞）と話をされた。

入所式にまでに至るそれぞれの方の人生は、決して平坦なものではなく、生き難さに満ちた人生の歩みの中で、時に打ちのめされ悩み苦しむ、自己の存在を大切にできない時もあっただろう…。と思っていたところの私に、この言葉が突き刺さった。

Y's コート ゆいは、企業受注と自主生産品作製とカフェ JOY での厨房作業の組み合わせで成り立っている。

作業種も増えていることもあり、利用者の「この作業をしたい」という意欲を認め、輝きを放っていく彼らを支えている。好き嫌いで利用者に作業を選択させているという誤解を生みがちだが、意欲を日頃から認めていないと、やる気や向上心が芽生えないことになっていく。逆に、厨房作業も含めて今まで取り組むことのなかったことにも挑戦しようとし始めるのが、ゆいの支援となっている。

今年度はバザールを、回数を増やして開催している。最近のクリスマスミニバザールでは期間中に、会員による生活応援バザール（中古雑貨・中古衣料を中心に販売）を開催したり、寒風荒ぶ中クリスマスの楽曲を取り入れたランチコンサートを開催するなど、福祉会の会員の協力を得ながらの活動も行っている。



12月1日に行われたランチコンサート。利用者の皆のコーラスも披露しました。

就労継続支援 B 型は、企業受注と自主生産活動の二本立ての事業所が多い。ゆいのように、三本柱の組み合わせは、利用者の作業場面の切り替えを目まぐるしくさせるものがある。

受注作業中、厨房作業を一段落させた利用者が休憩に入る。入れ替えに厨房作業に入る利用者がいる。一日の中で、こうした入れ替えが、数度ある。また、ミニバザールの際の販売係なども加わる。また毎日日替わりで掃除箇所が割り振られるなど、「変化が苦手」といわれる中で、さぞや大変な思いをしているのではないかと思う時があるが、その職員の考えを、利用者が打ち消していく。

朝の朝礼で作業の確認を行い、一日が始まる。自分の動きを、その時に知り、そして間違えなく動いていくのだ。なかには混線してしまう時もあるが、それも愛嬌で済まされる。結構複雑な一日の動きを理解するのだから少々間違っても、これまた人間なのだ。

変化に弱いのは、彼らではなくサポートする側の方になる。ゆいの仲間、こうした変化を成長という姿で我々に教えてくれる。我々は、素直に感激し、言葉としてそれを称える。そして、また彼らは自信をつけていく。「変化に弱い」どころか、しなやかに、かつ強靱なばねを持つ利用者に教えられ、職員も、しなやかに寄り添う支援を行う。

作業だけではない。開設以来取り組んでいるSST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）は、日常の場面で活かされている。利用者も普段からSSTを意識できるようになっている。社会活動の中で、生き難さに、苦手になったり自信を失いかけているとき、〇〇をしたいという起点から始まるSSTにより、自信つけができることは大切なものとなっている。

SSTを通じて、否定しない、褒めるは、日常の支援姿勢とおのずとなっている。支援は職員の言動の写し絵であり、職員間でも否定的支援を戒めることは自然体なこととなっている。

ゆいは、唯一無二の場として、若い集団を形成しながら、これからのライフステージに応じた出来事を共に泣き笑い、乗り越えていくのだろう。

（施設長 大澤宏実）



3年振りに開催された「板橋区民まつり」に出店しました。 ご家族も招待しクリスマス会を行いました。

自主生産品の作品作りをご指導くださっている、三輪ゆうこさんのアトリエで陶芸体験。マグカップを作りました。

＜「坂下ゆい商店」の商品を購入して応援してください＞

手作りアクセサリ（ブローチ、ブレスレット）、アクリルたわし、吸い取るゾウを販売しています。

◆ニューイヤーバザールを実施します◆

2023年1月16日(月)～20日(金)、カフェJOY前の駐車場スペースにて開催します。「坂下ゆい商店」の商品（ブローチ・ブレスレット・吸い取るゾウ etc.）・中古雑貨の販売もいたします。

雨天中止とすることがあります。天候が心配な時は、当日9時30分以降にY'sコート ゆいへお問い合わせください。

（TEL 03—5939—8623）



ティッシュアートを加工して新たな自主生産品が登場。クリスマスミニバザールではクリスマスのオーナメントを販売しました。

◆以下のところでも購入できます◆

カフェJOY	店内でご自由にご覧いただけます。	
都営三田線「高島平駅」	「スマイルマーケット高島平駅ナカ店」（西口改札外）にて常設販売しています。（開店時間：平日11:00～19:00）	
板橋区役所1階ロビー	「スマイルマーケット」に毎月第4水曜日11:30～14:00に出店しています。	
KURUMIRU（くるみる）	東京都庁店（パスポートセンターそば）	常設販売です

カフェJOY
お弁当・プチデザート販売
月～金（祝日お休み）
11時30分～13時30分
（完売になり次第終了）
※店内イートインスペース有

坂下ゆい商店
手作りアクセサリ
（ブローチ・ブレスレット）
販売中
「すいとるゾウ」・アクリルたわし etc.
好評販売中

軽作業ご依頼ください
封入・シール貼り・
DM等挟み込み、分別 etc.
承ります。

これらの収益が「Y'sコート ゆい」利用者の工賃(お給料)になります。応援をお願いします！

Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム）

2021 年 2 月 1 日に開設 5 周年を迎えた Y's ホーム ハイホーは、身体障がい、発達障がい、知的障がいのある 20～40 歳代の 7 人の男性が生活しています。

私は、2016年の時に、Y's ホーム ハイホーに通い始めてから、生活が安定してきていると感じています。就職して自立して生活できるように、まずグループホームに通って嬉しく思います。

入居時からずっといる（職員の）山本さんや木内さん、新しく入った吉田さん、小池さんにとっても感謝です。丸 6 年にわたり支援をいただきました。

2018 年 6 月に会社に就職し、現在は、3 日ほどお休みをいただいております。基本的には 2 人で作業をします。その後は会議室メンテナンスの作業を行います。

夜は、ご飯、三輪アート、テレビを見たり、洗濯もやっています。

今後の目標は、自立生活し、いろんな作業に取り組み、立派な社会人になりたいです。

（安保翔馬）

私は、2016 年の時に、Y's ホーム ハイホーに通い始めて、きちんとできるかどうかとても心配になっていました。就職して自立してできるように、まずグループホームに通って嬉しく思います。

入居時からずっといる（職員の）山本さんや木内さん、新しく入った吉田さん、小池さんにとっても感謝です。丸 6 年にわたり支援をいただきました。

2018 年 6 月に会社に就職し、現在は、ごみ回収をやっている所です。基本的に 2 人で作業をします。その後は会議室メンテナンスの作業を行います。

夜は、ご飯、三輪アート、テレビを見たり、洗濯もやっています。

今後の目標は、自立生活し、いろんな作業に取り組み、立派な社会人になりたいです。

（安保翔馬）



ハイホーのクリスマス会。コーラスに耳を傾けました。

1 年ほどの間、宿直としてお手伝いをさせて頂きました。

週 1 日ですが 22 時から 6 時までの勤務で利用者さんへのヘルプはしない約束です。

ハイホーに利用者として暮らす長男の親としては普段の生活を見学できるのは楽しみでもあります。

利用者さんが穏やかに過ごしている、と最初に感じました。皆が就寝前の時間を思い思いに楽しんでいきます。利用者さんのやりたい事を尊重しながらも就寝時間が遅かったり音量が大きい時にはスタッフさんが声かけをしていました。それも強制的ではなくフレンドリーな促すような感じだったのが印象的でした。利用者さんの自主性に任せつつも規則的な生活を送れるように見守ってくれているようです。就寝中も毎回静かな様子でこのことから皆が落ち着いて生活できていると感じました。

6 時にリビングに行くとすでに朝食中の利用者さんがいます。この時間でも温かい食事を用意してもらえるのは利用者の親としては感謝です。

第二の我が家のようにリラックスして過ごせる雰囲気になっているのはスタッフ皆様のおかげだとのことお手伝いをしてあらためて思います。

利用者の親としては生活のほんの一部でしたが観られたのは貴重な経験でした。

（田中豊康）

募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2022年8月1日～2022年11月30日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

個人	物品寄付（個人・企業）
大塚 宏枝 外崎 弘子	石井 南代美 楠本 淑子 田中 絵美 森 かれん
奥村 幸子 楯石 和男	石橋 さなえ 國司 章子 千秋 和花 保田 範子
小原 優子 田中 孝代	内田 佳代子 熊倉 静代 藤井 玲子 横山 悦子
加藤 知子 谷部 順子	大島 和美 小山 裕子 町田 洋子 まめ屋
國司 章子 渡辺 美智子	柏木 妙子 坂井 史子 松山 智美
佐藤 浩子	片倉 敦子 曾我 和枝 水島 路子
鈴木 賢次	加藤 知子 高橋 宏子 室伏 彩

寄付金合計：337,100円

Y's コート ゆいのミニバザールのために、近隣にお住いの方も含め多くの方から新品雑貨等のご寄付を頂きました。

ご支援をお願いいたします

○NPO 法人東京YWCA福祉会の**会員になる**⇒屋台骨である、組織を支えることにつながります。

- <会員の種別> ☐正会員(個人) 年会費 3,000円
☐正会員(団体) 年会費 5,000円
☐賛助会員(個人・団体) 年会費 1口2,000円

※正会員は、総会における議決権があります。
 ※会員は、年度制です(4/1～3/31)。

<入会方法> 入会申込書の提出と、年会費のお支払が必要となります。
 事務局までお問合せください(TEL 03-5914-1854)

○**ご寄付のお願い** 障がいのある人々の「働く」と「暮らす」を支援する事業を支えるために、
 温かいご支援をお願いいたします。

<方法> 【現金】 事務局(東京YWCA板橋センター内)にてお受けします。

【銀行振り込み】 ・東京信用金庫 **志村支店(普) 4062567**
 ・三菱UFJ銀行 **志村支店(普) 0194008**
 ・ゆうちょ銀行 **10010 31108311**

お振込みの前に、
 寄付申込書をお送り頂くか、
 ご一報くださいますようお願い申し上げます。

口座名義：「特定非営利活動法人東京YWCA福祉会」

トクヒ) トウキョウ ワイダブリューシーエー フクシカイ

*お振込みの場合、払込時の控えをもって領収証に代えさせていただきます。

寄付金控除制度の活用をお考えの方は、お振込の前に事務局までお問い合わせください。

現物のご寄付をくださる際は、事前に確認のご連絡をくださいますようお願い申し上げます。

コラム『一粒の麦』

部屋を片付けていて、以前知り合いの田んぼの稲刈りを手伝った際にひろった稲の穂が、花瓶にさされたままになっているのを見つけました。細い穂先にはそれでも100粒ほどの実(モミ)が、けなげについていました。お米は一粒のモミから500から600粒を実らせるといわれています。手のひらのモミを数えながら、一粒のモミから食卓の上に乗るまでの時の重みをあらためて感じました。

それにつけても、ウクライナの穀倉地帯で収穫された穀物が飢餓に直面する中近東やアフリカの国々に届かないでいるとのこと。育てた多くの人々の労力を空しくし、何よりも種まき人である神様をもっと悲しませるなんという行為でしょうか。麦やひまわりが豊かに実る穀倉地帯に、収穫を喜び、愛でる平和な日々が一日も早く来ることを祈ります。 理事 坂口和子

